

第149回

健康のススメ

板東 浩

近年わが国の医学で注目され期待されているのがプライマリ・ケア(PC)医学である。臓器別ではなく、心と身体を含め患者全体を大切に扱う。プライマリ(primary)とは、主要な、重要な、という意味だ。参考として、オペラで登場するプリマ・ドンナはprima(主役の)+donna(女性)であり、可愛い女性を示唆するマ・ドンナの場合、ma(私の)+donna(女性)となる。「PCが医療の主役に」つまり、PCは医療の基盤を支え主役の役割を演じていると考えられよう。

先日JR高松駅直結の国際会議場で、日本PC連合学会の第8回学術大会が行われた。テーマは「総合診療が拓く未来～地域に新たな架け橋を～」。僭越ながら私は大会長を拝命し、身が引き締まる想いで四国の皆と力を合わせ開催に漕ぎつけた。

私が担当した大会長講演では、基本の医学や医

療、糖尿病学に加え、音楽療法や芸術、サイエンスとアートなどにも触れることに。手法はスライドを説明しながらピアノを演奏するものだ。

歴史を紐解くと、医学・音楽・宗教は三位一体で起源は同一という。四国巡礼は心の修行や学芸の修業にも繋がる。弘法大師の広く深いスピリットにも触れながら、小さな四国支部から全国へ大きく発信できたと思う。(医学博士・内科医)

「PCが医療の主役に」

